

学会参加者へのお知らせ

1. 参加登録

東京ドームホテル地下1階の参加登録受付にて行います。

		東京ドームホテル 地下1階
開設時間	9月5日(木)	8:00~18:00
	9月6日(金)	7:30~16:00

2. 参加費

会員・非会員：	15,000円
研修医：	2,000円
看護師，理学療法士，作業療法士，薬剤師，他：	1,000円
学生：	無料
上記以外：	15,000円

会場内では参加登録証（ネームカード）を必ずお付けください。参加登録証を付けていない方の入場はお断りいたします。

3. 抄録集

会員の方は必ずご持参ください。当日は1冊2,000円で販売いたします（冊数に限りがあります）。

4. 年会費支払および新入会受付

東京ドームホテル地下1階 東日本整形災害外科学会事務局受付にて行います。

5. クローク

東京ドームホテル地下1階をご利用ください。

6. 呼び出し

会場内での呼び出しは行いません。受付周辺に伝言板を設置いたしますので、ご利用ください。緊急の場合は、運営本部（東京ドームホテル地下1階「彩」）へお越しください。

7. 昼食・軽食

9月5日（木）・6日（金）ともにランチオンセミナー会場でお弁当を配布いたします。

9月5日（木）はイブニングセミナー会場で軽食を配布いたします。数量に限りがありますのでご了承ください。

8. 医療機器展示

東京ドームホテル地下1階「ホワイエ」に医療機器展示コーナーを設けます。

9月5日（木）9:00~18:00

9月6日（金）8:30~17:10

9. 会場内での撮影，録画，録音

会場内での許可のない録音，写真およびビデオ撮影は，固くお断りいたします。また，携帯電話は，マナーモードに設定していただくか，電源をお切りください。

10. 託児所

学会で託児所を設けます。お申し込み方法や詳細はホームページ <http://www.congre.co.jp/ejaot2019/>でお知らせします。

11. 日本医師会生涯教育単位

特別講演・教育研修講演で日本医師会生涯教育単位の取得が可能です。カリキュラムコード等の詳細はホームページ <http://www.congre.co.jp/ejaot2019/> または会場にてお知らせします。

12. ハンズオンセミナーを受講される方へのお知らせ

会期中のハンズオンセミナーは第6会場にて行います。各セッション、講義の時間が違いますので、あらかじめホームページでご確認ください。事前申込制となりますので、共催企業へ直接お申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。

セッション	日程		会場	テーマ	共催
ハンズオン セミナー1	9月5日 (木)	15:00 ~16:30	第6会場 東京ドームホテル地下1階 「シンシアサウス」	保存と手術の中間治療 となりうる腰椎椎間板 ヘルニアに対するコン ドリラーゼ椎間板注入 療法の手技・治療効果	科研製薬株式会社
ハンズオン セミナー2	9月6日 (金)	8:30 ~9:50		筋 腱 完 全 温 存 ALS THA 手技のコツとピッ トフォール	コリン・ジャパン株式会社
ハンズオン セミナー3		13:50 ~15:10		掌側ロックングプレー トのトリセツ	ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社

13. 理事会、新企画委員会、編集委員会のお知らせ

新企画委員会 9月4日(水) 15:00~16:00 東京ドームホテル5階「蓬莱」
理事会 9月4日(水) 16:00~17:00 東京ドームホテル5階「吉祥」
編集委員会 9月4日(水) 17:00~18:00 東京ドームホテル5階「蓬莱」

14. 評議員会および総会のお知らせ

評議員会 9月5日(木) 14:00~14:30 第1会場(東京ドームホテル地下1階「天空B」)
総会 9月5日(木) 14:30~15:00 第1会場(東京ドームホテル地下1階「天空B」)

発表者へのお知らせ

口演発表はコンピュータプレゼンテーションのみといたします。演者は10分前までに次演者席に着席してください。

1. 口演時間

特別講演・教育研修講演： 事前に案内した時間となります。
シンポジウム： 個別にご案内いたします。
第67回学術奨励賞受賞者講演： 発表8分，質疑応答2分
NEXT 優秀講演アワード： 発表6分，質疑応答4分
ケースシリーズアワード： 発表5分，質疑応答2分
主題： 発表5分，質疑応答3分
一般演題： 発表5分，質疑応答2分

2. 演者受付

PC 受付(東京ドームホテル地下1階)で受け付けます。講演開始30分前までにPC 受付に演題番号を伝え、試写確認をしてください。

9月5日(木) 8:00~18:30

9月6日(金) 7:30~16:00

3. 発表用スライドについて

●メディアを持参される場合

- ・受付可能なメディアは USB メモリーもしくは CD-R のみです。
- ・本会では、以下の OS、アプリケーション、動画ファイルに対応しております。
OS Windows 10 以降
アプリケーション PowerPoint 2010/2013/2016
動画ファイル Windows Media Player で再生可能なデータ
- ・Macintosh は、PC 本体をご持参ください。
- ・メディアには、当日講演に使用されるデータ以外は、保存しないようにしてください。
- ・「発表者ツール」を使用した発表はできませんのでご注意ください。
- ・プレゼンテーションに他のデータ（静止画・動画・グラフ等）をリンクさせている場合は、必ず元のデータも保存し、データを作成された PC とは別の PC で、事前に動作確認を必ずお願いします。
- ・ファイル名には、演題番号・講演者名を入力してください。
- ・会場システムへのウイルス感染予防のため、事前にメディアのウイルスチェックを行ってください。PC 受付では、ウイルスセキュリティを最新に更新し、万全を期しておりますが、ウイルスに定義されていない未知のウイルスに感染する場合がございます。
- ・データは学会終了後に事務局が責任を持って消去いたします。

●PC 本体を持ち込まれる場合

- ・持ち込みが可能な機種は、Windows 7 以降が動作する機種または Macintosh で、モニター出力端子にミニ D-sub15 ピンが装備されているものに限ります（薄型 PC では出力端子の規格が異なることがあります）。ミニ D-sub15 ピンへの変換ケーブルが必要な場合は、必ずご持参ください。
 - ・万が一に備え、バックアップ用として、各種メディア（USB メモリー、CD-R）にデータを保存し、ご持参ください。
 - ・電源アダプターは必ずご持参ください。
 - ・音声出力や動画出力がある場合は必ず係員にお申し出ください。
 - ・液晶プロジェクターの解像度は、XGA（1024×768）です。解像度の切り替えが必要なコンピューターは本体の解像度をあらかじめ設定しておいてください。
 - ・「発表者ツール」を使用した発表はできませんのでご注意ください。
 - ・スクリーンセーバー、スリープモード等発表の妨げとなるモードはあらかじめオフに設定しておいてください。
 - ・演者は、PC 受付にて動作確認後、講演開始 20 分前までに、講演会場内の PC オペレーター席に PC 本体をお預けください。PC 受付ではお預かりいたしません。
 - ・講演終了後、PC オペレーター席にて PC 本体をご返却いたします。
4. 演者は前の演者が登壇したら、次演者席にご着席ください。
 5. 講演中の PC の進行は、演者ご自身で演台上にあるマウスとキーボードでご操作お願いいたします。
 6. 講演時間の経過は、講演 1 分前に黄色ランプ、講演終了時に赤ランプが点灯します。
 7. 非会員の演者は発表前に入会の手続きをしてください。未入会の演者は発表をお預かりいたします。

利益相反（発表にあたって）

東日本整形災害外科学会は、平成23年2月に公表されました「医学研究のCOIマネジメントに関するガイドライン」（日本医学会）に則して、第64回東日本整形災害外科学会から発表者の皆さまに利益相反状態の開示を行っていただくことといたしました。筆頭発表者は該当するCOI状態について、発表スライドの1枚目に過去1年における発表内容と関連のある企業との利益相反（COI）状態を項目別に基準額以上の場合に開示してください。

※利益相反のスライドは本会のホームページからダウンロードしてください。

なお、利益相反の有無にかかわらず、全ての発表者に開示していただく必要があります。

座長の先生へのお知らせ

1. 座長は担当セッション開始予定時刻の10分前までに次座長席にご着席ください。
2. 進行は時間厳守をお願いいたします。

発言者へのお願い

時間が限られておりますので、発言をご希望の方はあらかじめマイクの前に立ち、座長の指示に従い、所属・氏名を述べた後に簡潔に質問・発言をしてください。

日本整形外科学会教育研修講演を受講される先生方へ

特別講演、教育研修講演、ランチオンセミナー・イブニングセミナーはいずれも日本整形外科学会の教育研修講演として認定されています。本紙綴じ込みの教育研修講演申込書に必要事項をご記入の上、講演開始までに教育研修講演受付へお申し込みください（1演題につき1単位1,000円）。単位が必要でない場合は、お申し込みは不要です。

1. 申込方法（東京ドームホテル地下1階）

◆教育研修講演受付で申込書に必要事項を記入の上、日整会IC会員カードと受講料（1セッション1,000円）を添えてお申し込みください。2015年1月1日から、研修会単位取得報告を従来の受講証明書からデジタル方式へと完全に移行しておりますので、受講の際は必ず日整会IC会員カードをご持参ください。「日整会保存用」の受講証明書はありませんので受講後に証明書を提出する必要はありません。

※受講証明不要の方の受講料は不要です。

◆受講料は講演中止などの理由以外では払い戻しいたしません。また受講取り消し、変更の手続きや領収書の再発行はいたしません。

◆教育研修講演受講のために入場される方も、学会参加費が必要です。

◆日本整形外科学会からのお知らせ

・研修会を受講される方へ

IC会員カードが必要になりますので必ずご持参ください（平成25年4月に全会員に発行済です）。

現在、カードがお手元ない方は日整会事務局までお問合せください（03-3816-3671）。

- ・受講証明について

講演開始10分前から開始10分後までに、IC会員カードを講演会場入り口のカード読み取り機にかざして出席登録を行ってください。10分を過ぎた場合、入場手続きが完了していない場合、途中退場された場合には単位取得はできませんのでご注意ください。

- ・必須分野番号の選択について

単位の必須分野番号を、研修会当日に選択することはできません。

後日、会員専用ページ内の「単位振替システム」を利用して、ご自身でご希望の必須分野番号への振替をお願いいたします。

2. 整形外科専門医 学会参加単位登録について

本学会参加単位は、教育研修単位を修得できる講演のいずれかを受講すると自動的に登録されます。

※教育研修講演を受講しない場合は、会期後、参加証明書のコピーをFAXにて日整会事務局へ送信ください。

教育研修講演のお知らせ

●特別講演

- 1) 9月5日(木) 11:40~12:40 第1会場

整形外科医が知っておきたい辺縁領域—地域包括ケア・健康づくり・緩和医療—

鎌田 實先生(諏訪中央病院)

- 2) 9月6日(金) 11:20~12:20 第1会場

トップアスリートから見る運動と健康

室伏 広治先生(東京医科歯科大学スポーツサイエンス機構)

●教育研修講演

- 1) 9月5日(木) 15:10~16:10 第1会場

日常診療に求められる臨床倫理とは

吉田 雅幸先生(東京医科歯科大学先進倫理医科学分野)

- 2) 9月5日(木) 16:20~17:20 第1会場

医療安全とアサーション

小林 利彦先生(浜松医科大学医学部附属病院)

- 3) 9月5日(木) 17:30~18:30 第1会場

運動器疾患診療における感染症と感染対策

森兼 啓太先生(山形大学医学部附属病院検査部・感染制御部)

- 4) 9月6日(金) 13:50~14:50 第1会場

整形外科における疫学研究の進め方

藤原 武男先生(東京医科歯科大学国際健康推進医学分野)

- 5) 9月6日(金) 15:30~16:30 第1会場

医学英語論文執筆のコツ—書かなければ、何も残らない—

康永 秀生先生(東京大学大学院医学系研究科臨床疫学・経済学)

- 6) 9月6日(金) 8:50~9:50 第2会場

若手医師が知っておくべき医療戦略

山本 雄士先生(株式会社ミナケア)

●ランチョンセミナー

- 1) 9月5日(木) 12:50~13:50 第1会場

末梢神経障害性疼痛に対する薬物療法

竹下 克志先生(自治医科大学整形外科)

- 2) 9月5日(木) 12:50~13:50 第3会場

腰痛診療ガイドライン改訂からよみとく慢性腰痛治療—薬物療法と病態のパラダイムシフト—

折田 純久先生(千葉大学大学院先端脊椎関節機能再建医学講座)

- 3) 9月5日(木) 12:50~13:50 第4会場

LLIFの導入により得られたことと今後の課題

新井 嘉容先生(埼玉県済生会川口総合病院整形外科)

- 4) 9月6日(金) 12:40~13:40 第1会場

軟骨・半月板治療「大航海時代」のはじまり:「羅針盤」MRI 3次元解析で評価し幹細胞で再生させる

関矢 一郎先生(東京医科歯科大学再生医療研究センター)

- 5) 9月6日(金) 12:40~13:40 第2会場

運動器慢性疼痛の現状と課題

中村 雅也先生(慶應義塾大学医学部整形外科)

- 6) 9月6日(金) 12:40~13:40 第3会場

大腿骨頸部骨折に対する安全な骨セメント使用人工骨頭置換術をマスターしよう!

岩瀬 敏樹先生(浜松医療センター整形外科)

●イブニングセミナー

- 1) 9月5日(木) 18:30~19:30 第3会場

運動器疼痛の生物学的理解—慢性化の予防と治療効果向上のために—

池田 亮先生(東京慈恵会医科大学整形外科学講座)

- 2) 9月5日(木) 18:30~19:30 第4会場

変形性関節症の分子病態と治療法の開発

齋藤 琢先生(東京大学大学院医学系研究科整形外科学)

- 3) 9月5日(木) 18:30~19:30 第5会場

O-armの使用経験と今後の展望

坂井頭一郎先生(埼玉県済生会川口総合病院整形外科)

ケースシリーズアワード表彰のご案内

優秀な講演に対し、最優秀賞を設けます。座長が審査員となり受賞者を選定し、学会2日目の14:00に総合受付に掲示します。受賞者は、賞状および副賞が授与されますので、閉会式にご参加ください。

NEXT 優秀演題アワード表彰のご案内

優秀な講演に対し、NEXT 優秀講演賞(35歳以下、未専門医の方、対象)を設けます。座長が審査員となり受賞者を選定し、学会2日目の14:00に総合受付に掲示いたします。受賞者は、賞状および副賞が授与されますので、閉会式にご参加ください。

東日本整形災害外科学会学術奨励賞のご案内

以下の内規に従い、第 68 回学術集会での発表論文の中から奨励賞論文が選考されます。
学術奨励賞に関する内規

1. 座長推薦（各セッションの座長が奨励賞候補論文として発表演題を原則として 1 題推薦する。）
2. 候補者の対象は原則として学会発表時点で 40 歳以下の正会員とする。
3. 対象論文には症例も含める。
4. 副賞はひとり 20 万円とする。

第 67 回（平成 30 年度）学術奨励賞受賞者

学術奨励賞受賞者には 6 月上旬に事務局より通知いたしました。
受賞者は総会において会長より奨励賞状および副賞 20 万円を授与表彰されますので、総会へのご出席をお願いいたします。

- 木島 永二先生（東京慈恵会医科大学整形外科学講座）
「β-TCP・ヒアルロン酸・FGF-2 複合体を用いた骨欠損を伴う不安定型大腿骨転子部骨折の治療経験」
- 小林 天先生（帝京大学医学部整形外科学講座）
「肩関節脱臼骨折に伴う整復阻害因子の検討」
- 清水 淳也先生（釧路赤十字病院整形外科）
「肺転移を有する悪性骨軟部腫瘍患者における肺切除の予後への影響」
- 徳廣 泰貴先生（北海道大学大学院医学研究院専門医学系部門再建医学分野整形外科学教室）
「β-リン酸三カルシウムを用いた内側楔状開大式高位脛骨骨切り術における骨棘移植の効果」
- 福井 辰侑先生（都立駒込病院整形外科）
「脊椎転移予後予測スコアの検証」

学術奨励賞受賞者一覧

	氏名	論文	所属	掲載
第 1 回奨励賞 第 51 回学術集会 2003 年	佐藤多賀子	指関節骨および中手骨骨折に対する extension block casting 法	駿河台日本大学病院整形外科	第 15 巻 2 号
	田中 栄	関節炎における骨関節破壊	東京大学整形外科	第 15 巻 1 号
	中野 裕治	人工関節術後の肺塞栓症の発症に関する検討	多摩南部地域病院整形外科	第 15 巻 2 号
	長谷川和宏	骨粗鬆症性椎体骨折に対する手術療法— 57 例の retrospective study —	新潟大学整形外科	第 15 巻 1 号
	山部 英行	橈骨遠位端骨折に対する保存的治療の成績と問題点 — X 線像の成績と ADL 障害の関係について—	大田原赤十字病院整形外科	第 15 巻 2 号
第 2 回奨励賞 第 52 回学術集会 2004 年	小林 俊之	術後早期に発症する肺塞栓症における、血液ガス分析の有用性	日本医科大学付属千葉北総病院 整形外科	第 16 巻 1 号
	高野研一郎	人工膝関節全置換術後の大腿骨顆上骨折に対する Ilizarov 法による治療	獨協医科大学越谷病院整形外科	第 16 巻 1 号
	戸部 正博	高齢者手根管症候群の手術例の検討	東邦大学第 2 整形外科	第 16 巻 1 号
	森田 晃造	高齢者橈骨遠位端骨折に対する non-bridging 創外固定の治療経験	慶應義塾大学整形外科	第 16 巻 1 号
	茂呂 貴知	肘部での採血の危険性— 肘関節屈側の皮静脈と神経の解剖—	福島県立医科大学整形外科	第 16 巻 1 号

第 3 回奨励賞 第 53 回学術集会 2005 年	高橋 寛	腰椎椎間板ヘルニアに対する MED 法の治療成績と問題点	東邦大学整形外科	第 17 巻 1 号
	高平 尚伸	50 歳以下の進行期から末期変形性股関節症に対する大腿骨外反骨切り術と Chiari 骨盤骨切り術併用手術—長期成績と長期計画における治療方針—	北里大学整形外科	第 17 巻 2 号
	玉木 康信	ラット骨髄由来初代培養マクロファージのチタン顆粒貪食能の検討	山形大学整形外科	第 17 巻 2 号
	二宮 忠明	Interference screw で大腿骨骨孔に固定した移植腱の固定強度—screw divergence による影響—	埼玉医科大学整形外科	第 17 巻 2 号
第 4 回奨励賞 第 54 回学術集会 2006 年	原田 大朗	腰部脊柱管狭窄症手術例における足底部しびれの遺残	慶應義塾大学整形外科	第 17 巻 1 号
	安食 孝士	断裂筋肉の細胞癒合現象—遺伝子改変ラットを用いた基礎研究—	自治医科大学整形外科	第 18 巻 2 号
	金山 雅弘	不安定性腰椎に対する Graf 制動術の適応と限界—10 年以上の長期成績から—	函館中央病院脊椎センター	第 18 巻 1 号
	古賀 大介	後側方アプローチを用いた小切開 THA の検討	東京医科歯科大学整形外科	第 18 巻 1 号
第 5 回奨励賞 第 55 回学術集会 2007 年	藤田 聡志	高齢者の不安定型橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレートによる治療	獨協医科大学整形外科	第 18 巻 1 号
	洞口 敬	3DCT shoulder virtual arthroscopy を施行した肩関節前方不安定症の 1 例	日本大学整形外科	第 18 巻 2 号
	小川 健	多施設での低出力超音波パルス使用状況調査—効果と骨癒合不良因子の検討—	筑波大学整形外科	第 19 巻 2 号
	織田 崇	橈骨遠位端骨折変形治療の成績—橈骨楔閉じ骨切り術と尺骨短縮術の併用—	札幌医科大学整形外科	第 19 巻 1 号
第 6 回奨励賞 第 56 回学術集会 2008 年	古賀 昭義	腰部脊柱管狭窄症に対する後方除圧手術後成績不良例の検討	日本大学整形外科	第 19 巻 2 号
	助崎 文雄	高齢者 (75 歳以上) に対するセメントレス人工股関節置換術の適否	昭和大学整形外科	第 19 巻 1 号
	滝 正徳	新鮮膝 PCL 複合靭帯損傷における保存療法の適応と限界	善来会病院群馬スポーツ医学研究所整形外科	第 19 巻 1 号
	飯田 泰明	化膿性脊椎炎の診断と治療—保存療法を中心に—	東邦大学整形外科	第 20 巻 1 号
第 7 回奨励賞 第 57 回学術集会 2009 年	菅野 晴夫	腰部脊柱管狭窄症における荷重 MRI の検討	東北大学整形外科	第 20 巻 1 号
	塩谷 英司	スノーボードの足関節・足部の外傷	昭和大学整形外科	第 20 巻 2 号
	前田 周吾	高齢者大腿骨頸部・転子部骨折手術症例の生命予後	八戸市立市民病院整形外科	第 20 巻 1 号
	松村 福広	人工股関節周辺骨折に対する locking compression plate を用いた MIPO の治療経験—cable plate system と比較して—	自治医科大学整形外科	第 20 巻 2 号
第 8 回奨励賞 第 58 回学術集会 2010 年	青野 貴吉	新規発生腰椎変性すべり症の X 線学的検討	旭川医科大学整形外科	第 21 巻 1 号
	大畑 徹也	高度救命救急センターにおけるガス壊疽の治療成績	杏林大学整形外科	第 21 巻 2 号
	小倉 浩一	Metastatic bone tumor of unknown origin — Study of 29 patients —	東京都立駒込病院整形外科・骨軟部腫瘍科	第 21 巻 1 号
	葉梨 大輔	AO 分類 C3 橈骨遠位端骨折に対するロッキングプレートの治療成績—健側 X 線を理想値とした整復—	住友重機械健康保険組合浦賀病院整形外科	第 21 巻 1 号
第 9 回奨励賞 第 59 回学術集会 2011 年	堀 清成	腰椎分離症に対する顕微鏡下分離部修復術の成績	釧路赤十字病院整形外科	第 21 巻 1 号
	李 禎翼	関節軟骨修復・再生を目指した軟骨滑膜混合細胞体の開発	東海大学整形外科	第 22 巻 2 号
	石川 慶紀	下肢外旋起立肢位における脊柱アライメントと背筋力変化—骨粗鬆症患者のための背筋運動療法に関する基礎的研究—	秋田大学整形外科	第 22 巻 1 号
	高橋 雅人	頸椎性病性筋萎縮症の臨床的検討	杏林大学整形外科	第 22 巻 2 号
第 10 回奨励賞 第 60 回学術集会 2012 年	松村 恵津子	THA 症例における静脈血栓症予防のための抗凝固薬の比較検討	東京医科歯科大学整形外科	第 22 巻 2 号
	山中 康裕	術後抗凝固剤非使用での当科股関節疾患の DVT 発生頻度の検討	旭川医科大学整形外科	第 22 巻 2 号
	今井 教雄	立位における前骨盤平面に対する大腿骨頸部前捻角の男女間の比較	新潟県立新発田病院整形外科	第 23 巻 2 号
	岩下 哲	固有感覚訓練を行った腰板断裂修復術後の運動正確性に関する検討	日本医科大学整形外科	第 23 巻 1 号
第 11 回奨励賞 第 61 回学術集会 2013 年	岡崎俊一郎	ステロイド性大腿骨頭壊死症発生における自然免疫シグナル伝達	札幌医科大学医学講座	第 25 巻 1 号
	笹森 正子	鏡視下腱板修復術における術後疼痛管理について—持続皮下注射法と腕神経叢ブロックの比較—	船橋整形外科病院看護部	第 25 巻 1 号
	新谷りょう介	特発性脊髄硬膜外血腫に対する手術療法の予後予測指標	北里大学整形外科	第 25 巻 1 号
	仲田 紀彦	MRI でびまん性信号変化を呈し転移性脊椎腫瘍と鑑別を要した 6 例	がん・感染症センター都立駒込病院整形外科	第 25 巻 1 号
第 12 回奨励賞 第 62 回学術集会 2014 年	古川 満	脊椎疾患による痺れに対するプレガバリン投与の検討	けいゆう病院整形外科	第 25 巻 1 号
	上井 浩	多椎胸椎後縦靭帯骨化症に対する除圧範囲骨化巣後弯角を用いた後方除圧固定術	日本大学整形外科	第 24 巻 2 号
	菊地 保博	人工膝関節全置換術後患者における JKOM を用いた QOL 評価—両側例の術後 2 年までの経過—	本間記念東北整形外科	第 24 巻 2 号
	中島 大輔	交通外傷における四肢長管骨骨折の傾向	東海大学整形外科	第 24 巻 2 号
第 13 回奨励賞 第 63 回学術集会 2015 年	早坂 豪	股関節骨折手術における術後 D-dimer 値の推移と DVT 発生率—術式による比較検討—	千葉中央メディカルセンター整形外科	第 24 巻 2 号
	比嘉清志郎	膝関節屈曲位側面 X 線像による後十字靭帯損傷の診断	本間記念東北整形外科	第 24 巻 2 号
	岡崎俊一郎	ステロイド性大腿骨頭壊死症発生における自然免疫シグナル伝達	札幌医科大学医学講座	第 25 巻 1 号
	笹森 正子	鏡視下腱板修復術における術後疼痛管理について—持続皮下注射法と腕神経叢ブロックの比較—	船橋整形外科病院看護部	第 25 巻 1 号

第 12 回奨励賞 第 62 回学術集会 2014 年	安藤 則武	身体機能低下を有する高齢者に対する運動器リハビリテーションの効果	丸子中央病院リハビリテーション科	第 26 卷 1 号
	岩下 哲	夜間痛を伴う肩腱板断裂の臨床的特徴に関する検討	日本医科大学整形外科	第 26 卷 1 号
	太田 実来	ロコモティブシンドロームに対する当院の取り組みと課題	本間記念東北整形外科・東北歯科リハビリテーション室	第 26 卷 1 号
	篠崎 義雄	腰椎分離・分離すべり症に対する多裂筋内アプローチによる TLIF の手術成績	静岡赤十字病院脊椎センター	第 26 卷 2 号
	山口 徹	解剖学的二重束膝前十字靭帯再建術における骨孔拡大	善衆会病院群馬スポーツ医学研究所	第 26 卷 2 号
第 13 回奨励賞 第 63 回学術集会 2015 年	今井 教雄	table top plane を基準とした大腿骨座標系と CT 座標系における大腿骨頸部前捻角計測値の違い	新潟大学大学院医歯学総合研究科地域医療長寿学講座	第 27 卷 1 号
	大久保 敦	肩関節拘縮における上肢挙上時の体幹重心移動に関する検討	日本医科大学千葉北総病院整形外科	第 27 卷 1 号
	木島 泰明	変形性股関節症の痛みの程度に関連する要因	秋田大学大学院医学系研究科医学専攻機能展開医学系整形外科学講座	第 27 卷 1 号
	木村 由佳	外側円板状半月術後に生じた大腿骨外顆骨軟骨病変に関する MRI 画像の検討	弘前大学大学院医学研究科整形外科学講座	第 27 卷 1 号
	森田純一郎	予防的抗菌薬の使用期間を短縮しても SSI 発生率は増えない	筑波大学整形外科	第 27 卷 2 号
第 14 回奨励賞 第 64 回学術集会 2016 年	勝見 敬一	頸椎後縦靭帯骨化症に対する後方除圧固定術の治療成績と成績関連因子の検討	新潟大学大学院医歯学総合研究科機能再建医学講座整形外科学分野	第 28 卷 2 号
	佐々木英嗣	90 歳以上の上肢骨転子部骨折術後症例の生命予後と歩行能力	弘前大学大学院医学研究科整形外科学講座	第 28 卷 2 号
	花香 直美	若年成人ピンチ力の検討	山形大学医学部整形外科学講座	第 28 卷 1 号
	檜山 明彦	腰痛患者における下肢症状の有無が QOL に与える影響について	東海大学医学部外科学系整形外科学	第 28 卷 1 号
	藤井 達也	代償性胸椎後弯減少を伴う腰椎・胸腰椎移行部後弯変形に対する矯正固定術後の非固定胸椎正常化現象の検討	獨協医科大学越谷病院整形外科	第 28 卷 1 号
第 15 回奨励賞 第 65 回学術集会 2017 年	浅野 毅	全身性エリテマトーデス患者における無症候性特発性大腿骨頭壊死症の存在	北海道大学大学院医学研究科整形外科学分野	第 29 卷 1 号
	奥村 剛	除雪作業に関連した外傷に要する医療コストの検討 —特に雪下ろし外傷について—	新潟大学大学院医歯学総合研究科機能再建医学講座整形外科学分野	第 29 卷 1 号
	塚本 泰朗	特発性膝骨壊死における内側半月板後角損傷と下肢アライメントの関連	市立大森病院整形外科	第 29 卷 1 号
	三浦 隆徳	非定型大腿骨骨幹部骨折と骨粗鬆症性大腿骨骨幹部骨折の比較	北秋田市市民病院整形外科	第 29 卷 1 号
	若杉 琢磨	橈骨遠位端関節内骨折に対する掌側ロックングプレート固定 —長母指屈筋腱障害と抜釘時の所見について—	土浦協同病院整形外科	第 29 卷 1 号
第 16 回奨励賞 第 66 回学術集会 2018 年	遠藤 史隆	一次性変形性肘関節症における骨棘形成部位の特徴	群馬大学大学院医学系研究科整形外科学	第 30 卷 1 号
	王 耀東	大腿骨頸部骨折を予防すべき非定型大腿骨骨折患者の特徴	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科整形外傷外科治療開発学講座	第 30 卷 1 号
	川野 洋介	QCT による透析患者の大腿骨近位部骨密度評価	白河病院整形外科	第 30 卷 1 号
	小路 弘晃	PS-fixed 型 TKA における異なる 2 つのセンサーを用いた術中インプラント gap 評価	札幌医科大学医学部整形外科学講座	第 30 卷 1 号
	藤井 昌	変形性膝関節症における bone marrow lesions と骨強度パラメーターとの関連	秋田大学大学院医学系研究科医学専攻機能展開医学系整形外科学講座	第 30 卷 1 号
第 17 回奨励賞 第 67 回学術集会 2019 年	木島 永二	β -TCP・ヒアルロン酸・FGF-2 複合体を用いた骨欠損を伴う不安定型大腿骨転子部骨折の治療経験	東京慈恵会医科大学整形外科学講座	第 31 卷 1 号
	小林 天	肩関節脱臼骨折に伴う整復阻害因子の検討	帝京大学医学部整形外科学講座	第 31 卷 1 号
	清水 淳也	肺転移を有する悪性骨軟部腫瘍患者における肺切除の予後への影響	釧路赤十字病院整形外科	第 31 卷 1 号
	徳廣 泰貴	β -リン酸三カルシウムを用いた内側楔状開大式高位脛骨骨切り術における骨棘移植の効果	北海道大学大学院医学研究科専門医学系部門再建医学分野整形外科学教室	第 31 卷 1 号
	福井 辰侑	脊椎転移予後予測スコアの検証	都立駒込病院整形外科	第 31 卷 1 号

第 67 回東日本整形災害外科学会若手優秀演題アワードセッション結果

2-3-YIA ₂ -4	小林 天 (武蔵野赤十字病院)
2-3-YIA ₂ -5	長幡 樹 (秋田大学医学部付属病院)
1-3-YIA ₁ -3	岩本 陽輔 (秋田大学)
1-3-YIA ₁ -1	福井 辰侑 (がん・感染症センター都立駒込病院)

第 67 回東日本整形災害外科学会 Case Report Award 結果

優秀賞

1-5-CRA ₁ -10	井元 佑一 (帝京大学)
1-5-CRA ₂ -8	大屋 敬太 (秋田厚生医療センター)
1-5-CRA ₃ -4	山之内健人 (慶應大学)
1-6-CRA ₄ -1	阿部 幹 (杏林大学)

第 67 回東日本整形災害外科学会親善スポーツプログラム結果

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
駅伝大会	秋田大学 A	千葉大学 A	秋田大学 B
フットサル大会	日本大学	帝京大学	弘前大学
バスケットボール大会	秋田大学 A	慶應義塾大学	東海大学